

日本DPO協会 第28回個人情報保護セミナー
「近年多発する企業事件の発生原因からの
情報法コンプライアンスへの示唆」

講師：当協会顧問、関西大学社会安全学部・大学院社
会安全研究科教授
高野 一彦先生

2024年7月18日（木） 15:00～16:00

挨拶「日本における法意識改革の緊急性」

一般社団法人日本DPO協会代表理事

堀部 政男

（一橋大学名誉教授・元個人情報保護委員会委員長）

日本DPO協会 第28回個人情報保護セミナー 開催の お知らせ(2024年6月11日)

- 「近年、数多くの企業事件・不祥事が発生しています。具体的には、個人情報や営業秘密の流出などの情報セキュリティに関する事件、メーカーの検査不正事件、ハラスメントや過重労働などの労務関係の事件が頻度高く発生しています。また、外国法が域外適用されて多額の罰金や制裁金を課せられるリスクや、外国からわが国の企業の人権問題を指摘されるリスクなど、グローバル・コンプライアンスの問題も顕在化しています。さらにクライシスマネジメントの失敗事例も散見されます。
- これらの事件の多くが有名な大企業グループで発生していることは特筆すべき傾向です。」

日本経済新聞の「やさしい経済学」

高野一彦教授の連載(2024年7月8日以降)

- 2024年7月8日(月) **不祥事をなくす経営**
- ①経営危機に直結する問題
- ②体制整備に動いた大企業
- ③内部統制システムの要諦
- ④法令順守体制の有効性
- ⑤企業価値増進への取り組み
- ⑥「コストセンター」の変貌
- ⑦3要素が引き起こす不正
- ⑧あるべき情報管理の姿
- 以下つづく

“法”という規範

- 社会規範の中で“法”という規範は、
- ラテン語 jus
- ドイツ語 Recht
- フランス語 droit
- 英語 law
- 日本語 法

社会規範

- 礼儀、宗教、慣習、習俗、**道徳、法**
- **「法とは正義なり」**
- **中央大多摩キャンパス「法と正義の資料館」**「大学史資料館」を2024年4月に新設
- 「法と正義の資料館」では、法曹界を中心に歴史上重要な役割を果たした偉人の業績を顕彰する。古代ギリシャに歴史がさかのぼる「正義の女神」の解説の展示から始まり、欧米で繰り広げられた人権の獲得運動が、国家や社会を変える力になった過程などを紹介する。
- 来年3月末まで「医学者証言を覆せ」と題した初回の企画展も同時開催。イタイイタイ病の被害者救済で訴訟弁護団の一員となった松波淳一さんの奮闘が取り上げられている。」
- **「悪法も法なり」**

法と道德の緊密性

- 法と道德の緊密性
- 例えば、
- 人を殺してはならない
- 人の物を盗んではならない
- 人を傷つけてはならない
- これらは道德であるとともに、法的にも禁止され、違反に対しては罰則がある。

法と道德の疎遠性

- 法と道德の疎遠性
- 例えば、
- 道の左側を通行することにするか、右側を通行することにするかは、道德的にどちらがよいかということではなく、交通政策の問題である。
- 高野先生が取り上げている数多くの企業事件・不祥事が道德と緊密に関係しているか、それとも疎遠であるか、よいう観点から捉えてみる必要があるように思う。
- 時代によってその価値観は変わるが、人間として許される行為か、それとも許されない行為か、検討してみてはどうか。

- 企業関係者の規範意識として、道德のように、最低限遵守しなければならないものであるという意識改革が不可欠である。

- プライバシー・個人情報保護意識、世界共通化してきている。
- 交通ルールのように国によって異なるものもあるが、安全性の確保という共通の目的